

私学ぐんま

12号

2013



あわてずに、ゆっくりじっくり、何度でも

目次

- | | | | |
|--------------------|---|------------------------|-----|
| ●着任のごあいさつ…………… | 2 | 野外研修を終えて…………… | 5 |
| 群馬県総務部学事法制課長 中村 弘子 | | 2012年の生涯学習を振りかえって…………… | 5 |
| ●理事長ご挨拶…………… | 2 | ●平成25年度私学団体事業計画…………… | 6~7 |
| 群馬県私学振興会理事長 森本 純生 | | ●県人事異動…………… | 8 |
| ●平成25年度事業計画…………… | 3 | ●表彰受賞者…………… | 8 |
| ●研修報告 | | ●表紙について…………… | 8 |
| 福祉と医療の風を地域に…………… | 4 | ●編集後記…………… | 8 |
| 中堅教員研修に参加して…………… | 4 | | |



着任のごあいさつ

群馬県総務部学事法制課 課長 中村 弘子

本年4月1日付で学事法制課長に就任いたしました中村弘子です。以前、学事文書課文教係の一担当として、皆様方から様々な御指導や御協力をいただきました。あらためて御礼申し上げます。若かった日々、かけがえのない様々な経験を積ませていただいた私学教育の場に、再び関わられますことに、喜びとともに大きな責任を感じております。

当時から私学経営は、急激な少子化や景気の悪化、国際化等の影響による教育ニーズの多様化などを受け、厳しい状況にありました。それでも多くの私立学校が、それぞれの建学の精神を守り、懸命に時代のニーズに寄り添いながら、若い人材育成に努め続けてこられました。生きにくくなった、今を生きしていく生徒達のため、情熱をもって臨んでおられることに、深く敬意を表したいと存じます。

残念ながら、少子化傾向は未だ改善されず、私学経営にはこれまで以上に厳しい覚悟が求められると思います。また、特色ある教育のほかにも、多くの人々から信頼され選択されるよう、経営状態の情報公開や学校評価が求められるようになりました。学校が途中でなくならないか、体罰やいじめの対応はどうか等、今の保護者や生徒にとって、そうした様々な情報を入手し、チェックするのが当たり前になってきています。厳しい経営の舵取りをしつつ、公共性の高い私学教育を実現していく私立学校にとって、専門支援機関である私学振興会の存在は、今後もますます大切な、重要なものになると考えます。

こうした御努力に対し、県でも、非常に厳しい財政状況の中ではありますが、精一杯の支援を続けていきたいと思っております。皆様には、群馬県民の誇りとなる「私学教育」そして地域の教育・文化振興のためご尽力いただきますようお願い申し上げます。どうぞよろしくお願いいたします。



理事長ご挨拶

理事長 森本 純生

「公益財団法人群馬県私学振興会」の平成24年度決算が、6月18日開催の評議員会で承認されました。

平成24年4月1日に公益財団法人に移行してからの1年間、役員の皆様には会の運営ご尽力と会員の皆様にも多大なご支援・ご協力により、順調に振興会の各公益事業が無事に執行できましたことに心から感謝を申し上げます。

移行後の公益法人では、新たに会計監査人の設置、1年に2回以上の理事会への業務報告の義務付け、不特定多数の者のための公益事業の実施あるいは情報のより一層の公開等が求められたため、それらの対応にも心がけました。

主要事業の一つである退職手当資金等給付事業では、平成24年4月から25年3月末までに退職した教職員277人分の退職手当資金、8億1千3百万円余を会員に給付いたしました。

この事業の平成25年3月末現在の残高は59億1千4百万円余、受取利息は7千5百万円余であり、運用残高は、前年同期に比べ2億7千万円ほど増加しておりますが、退職者が例年より少なかったことによります。なお、受取利息は、ほぼ前年度並みでした。

この他の平成24年度事業の詳細は、振興会のホームページにアップいたしますので、どうぞご覧になっていただきたいと思っております。

なお、本年度は、公益財団法人への移行を契機に、教職員の海外研修事業を企画したところ15名ほどの先生の参加により実施できることになりました。

研修成果を教育の現場に生かし、群馬県内の私立学校教育の充実及び振興に資することを期待しております。

今後とも、役職員一同一致協力して会の運営に当たって参りますので会員皆様のご支援ご協力をお願いいたします。

平成25年度 事業計画

◆施設・設備整備資金融資あっせん事業

資金内容	校舎及び附帯施設の整備事業 校具・教具等設備の整備事業 校地の取得及び造成（利子補給対象外） 本会が特に必要と認めた事業			融資金額	2,000万円（特例：4,000万円）	
				融資期間	6年以内（融資年度は措置）	
				融資利率	0.75% 振興会より0.40%の利子補給あり。なお、土地については利子補給がないため1.15%	
申し込み	受付時期	5月上旬	8月上旬	11月上旬	返済方法	元金均等10回償還（3月と9月）
	あっせん時期	7月上旬	10月上旬	12月中旬		取扱機関

◆経営資金貸付事業

資金内容	学校の運営に必要な施設整備資金以外の資金	融資金額	200万円（特例：400万円）
申し込み	毎月15日までに申込書提出	融資期間	1年以内
返済方法	期限一括返済	融資利率	0.15%
取扱機関	群馬県私学振興会		

◆広報活動事業

会報発行	「私学ぐんま」私学が行っている諸事業を周知し、理解を深めるため会報を発行します。		
発行予定	6月・11月	配布先	群馬県内私学教職員等
新聞掲載	「群馬の私学」群馬県の私学を県民の方々に広くアピールするため新聞に掲載します。		
掲載予定	3月		

◆私立幼稚園教諭野外教育研修（共催 群馬県私立幼稚園協会）

開催日	6月22日～23日	対象者	幼稚園教諭
幼稚園において野外研修を実施するためには実践的体験が必要である。そこで教諭自らが野外において必要な基礎的知識や技術・具体的指導方法について実践をとおり研修します。			

◆教職員海外研修

開催日	10月14日～23日	対象者	教職員
諸外国の教育の実情を理解し研究・研修を持続することにより、本県私学教育の充実と県民の教育文化の向上に寄与するために研修します。			

◆私学振興講演会

開催日	1月予定	対象者	会員・一般
私学振興に関する情報提供を行う事により、私立学校教育の充実及び振興を図り、教育文化の高揚に資することを目的に研修します。			

◆私学振興研修会

開催日	11月予定	対象者	理事長・設置者等
理事長・設置者等に対して経営に関する情報提供を行うことにより私立学校の経営安定を図るため研修します。			

◆学校法人会計基準研修（共催 群馬県・日本公認会計士協会群馬県会）

開催日	2月予定	対象者	会計事務担当者・責任者
会計事務担当者等が学校法人会計基準に対する理解を深めることにより、学校経営の合理化・適正化を図るため研修します。			

◆生涯学習促進事業（実施 群馬県専修学校各種学校連合会）

開催日	7月～11月予定	対象者	県民の方々
地域における生涯学習の推進を図り、私立学校教育の振興に資するため、学校の実施する公開講座に対し、補助金を交付します。			

◆私立大学スポーツ大会事業（実施 群馬県私立大学協会）

開催日	10月5日～6日	対象者	群馬県私立大学生
群馬県私立大学協会と共催し、スポーツ大会の補助金を交付します。			

◆私立高等学校生徒指導連絡会議（共催 群馬県・群馬県私立中学高等学校協会）

開催日	7月2日	対象者	高等学校生徒指導担当教諭
生徒指導上の諸問題について、現況の把握・情報交換及び研究協議等を行い、私立高等学校の生徒指導担当教諭の指導力の向上を図るため研修します。			

～福祉と医療の風を地域に～群馬医療福祉大学公開講座の紹介

群馬医療福祉大学 櫻井 秀雄

群馬医療福祉大学では、教育・研究の成果を広く地域社会に開放し、地域社会の福祉と医療の向上に資することを目的として、本学の大学院の社会福祉学専攻科、大学の社会福祉学部、看護学部、リハビリテーション学部、短期大学部の介護福祉学科等の教員が講師として毎年実施しております。この公開講座は、「ぐんま県民カレッジ連携講座」として群馬県生涯学習の場として、また、前橋市、前橋市教育委員会、藤岡市、群馬県社会福祉協議会、上毛新聞社、群馬テレビ等の後援もいただき開催しております。

平成24年度は、11月2日から11月24日に計7回の公開講座を開講しました。障がいを持ちながらも夢に向かって走り続け、車椅子バスケットボール日本代表でパラリンピックに4回も出場した京谷和幸氏においでいただいた「昌賢祭」の特別講演も公開講座に組み入れて実施しました。

第1回目の「ノーマライゼーションと共生社会」からスタートし、「高齢者の睡眠へのヒント」、「正しい姿勢で健康寿命を延ばそう」、「体位変換はなぜ必要～安楽な姿勢や褥瘡予防に繋がる大切なケア～」、「夢が人を成長させる～逆境からの挑戦～パラリンピックへの思いから学ぶこと」、「医療現場における事故とその対策」と続き、まともめは「長寿とは何か考えよう」で閉講しました。受講者には、修了書の授与、全員の記念撮影が行われ和気藹々の中で終了しました。

また、「論語の学堂」では10月15日から11月26日に計7回の論語講座を開催しました。第1回目の鈴木学長の「論語の読み方について」からスタートし、「天心は人心、人心は天心」、「孔聖推奨道徳の大主意」、「学而時習之、不亦説乎」解、「論語と朱子」、「良寛と論語」、「論語と俳文芸について」の内容で実施されました。

前橋市商工会議所と連携した中央公民館での「まちなかキャンパス」や東公民館での「もっとすすすく親子スクール」でも、本学教職員がシリーズで公開講座を開催しております。



中堅教員研修に参加して

新島学園中学校高等学校 小栗 仁志



今回、中堅教員研修会に参加して強く感じたのは、学校は違ってもそこで働く先生方は同じような課題に直面し、悩んでおられることでした。同じ課題に対する様々な取り組みの方法を知るよい機会ともなりましたし、時として課題に対する理解や対処法は異なっても、あきらめずにチャレンジし続けている先生方の姿に大いに励まされました。

1日目は講義が中心でした。県学事法制課課長の関先生、桐生第一高校校長の高山先生、県教育委員会事務局の西村先生の講話、講義はそれぞれ豊富な知識と経験に裏打ちされた、大変に参考になるものでした。関先生の講話では、日頃と違った視点が与えられ、まさに「目からうろこ」の刺激あるお話でした。高山先生は静かな口調の中にも、とりあげられる出来事の事

柄の重さを考えると、様々な困難に直面しつつもそれを乗り越えてこられた教員人生の豊かさを感じさせられました。また西村先生の講義は「学校の危機管理」について、日頃突き詰めて考えられていない、自分の甘さを痛感させられるものでした。

2日目はカウンセリングについての講義・実習、研究協議と活動が中心となりました。学校で現在教育相談の係を担っている私としては、カウンセリングについての講義、特に認知行動療法の紹介はありがたいものでした。認知のゆがみから辛い思いをしている生徒は多いので、これを現場でいかしていきたいです。午後の研究協議では、同じ課題に対する異なった対処法を知ることができ、気づきと学びが与えられました。この時間は特に、冒頭に書いたように、同じ課題に悩む連帯意識を持たせたことが大きかったと思います。

1日目は初対面ということもあり参加者同士、お互いに精神的な距離がありました。2日目の研究協議でその距離がかなり縮まった感じがしました。私学はお互いがライバルであると同時に、連帯し協力していくべき仲間でもあります。そのことを改めて実感させていただいた研修でした。スタッフの皆様のご尽力に心より感謝申し上げます。

野外研修を終えて

中川幼稚園 大山恵里

私は6月9日、10日と国立赤城青少年交流の家にて行われた野外研修に参加させていただきました。今回のような泊まりがけで行う体験的な研修に参加するのは初めての事だったので期待と不安がありました。2日間を振り返ってみると、とても有意義に楽しく過ごす事が出来たと思います。

1日目のアイスブレイキングやプロジェクトアドベンチャーでは体を動かしながら様々な遊びを行いました。遊びながら楽しく体を動かすことで少しずつ緊張も解け、初めて顔を合わせた他の幼稚園の先生方とも交流を図ることが出来ました。また、教えていただいた遊びは園でも実際に子ども達と行える内容だったので、とても勉強になりました。

野外炊飯では班ごとに分かれてカレー作りをしました。火を起こす係、野菜を切る係などそれぞれ役割分担をし、上手いかない部分もありながら何とか完成させることが出来ました。役割を決め、協力して何かを作るという経験が出来た事は、子ども達に“協力する”という事の大切さや楽しさを伝えていきたいという気持ちを更に高めてくれました。

2日目は竹とクラフトナイフを使って竹とんぼを作りました。慣れない道具で行う製作はとても難しく試行錯誤しながらでしたが、何とか作り上げる事が出来ました。製作の際、子ども達が上手くはさみなどを使えないもどかしさを、今回の竹とんぼ作りを通して自分自身が体験出来たように思います。製作だけではなく、園生活の全ての場面において子どもの気持ちを敏感に感じ取り、子ども達一人一人の気持ちに寄り添う保育を行っていききたいという気持ちを改めて持つ事が出来ました。

2日間の研修を終え、普段はする機会のないような様々な経験をさせていただきました。今回の研修を通して自分が学んだ事や感じた事を実際に保育で活かせるよう努力していきたいと思います。2日間、ありがとうございました。



2012年の生涯学習を振りかえって

伊勢崎美容専門学校 桑名喜代美

県専修学校各種学校協会と県私学振興会の共催で行われる生涯学習促進事業を、本校は平成21年度より参加させていただいております。

講習の内容は、浴衣の着付けやそれに似合うヘアメイク、また簡単にできるネイルアートなど美容学校の特色をいかし、尚且つ、挑戦してみたいと思ってもらえる講座を行ってまいりました。開催場所も本校校舎にて行い、受講される皆さんに足を運んでいただくかたちをとっておりましたが、平成24年度は、新たに出前講習というかたちでの講座も開催いたしました。きっかけは、伊勢崎市内にありますある病院の関係者の方からのお電話でした。

内容は「病院に通院している患者さんたちの自立支援の一環として、月に一回一年を通しての講習会をしてもらえないだろうか」というものでした。このお話を頂いたときは、一年間という長期に渡ることによって通常業務に差支えが出てくるのではないかと、在学生たちに

迷惑を掛けてしまうのではないかと悩み、何度も教員たちと話し合いました。しかし、求めてくる人に対して拒む理由は無い、と判断し講習会を開催することにいたしました。

講習会は病院側の依頼でセルフメイクアップをテーマにし、眉の整え方やファンデーションの色選びと扱い方、スキンケアの方法や簡単なマッサージ等を毎月に行ってまいりました。

メイクをしたことがない、という受講生たちが、最初はぎこちない手つきで鏡と睨めっこしながらメイクをしていく姿にハラハラしていましたが、段々と道具の扱いに慣れていき自分の求める姿になったときの嬉しそうな笑顔を見て、この講座を開催して良かったと心からそう感じました。

次年度も受講される皆さんの期待に応えられるように、頑張りたいと思います。



平成25年度 私学団体 事業計画

【群馬県私立大学協会】

事業名	実施年月日	実施内容
総会	群馬県私立大学協会総会	平成25年度事業計画等
会議	代表者会議	平成26年度事業計画等
	広報担当者会議	未定
	高等教育懇談会	未定
大会	私立大学スポーツ大会	10月5日・6日 ALSOKぐんまスポーツアリーナほか
広報	PRコマースの放映	6月上旬から3カ月間 群馬テレビ
	学生募集広告等	5月下旬・10月中旬 上毛新聞

【群馬県専修学校各種学校協会】

事業名	日程	事業の内容
諸会議	総会	6月5日 平成24年度事業報告・収支計算
	理事会・正副会長会議	随時 当面の案件協議（公社総合ビル）
	会計監査	4月26日 24年度会計監査（私学センター）
研修事業	教職員研修	3月下旬 会員校の教職員研修 教職員・経営者向け2分科研修
	設置者研修	12月上旬 前橋市内で日帰り設置者・校長等研修 学事法制課の行政指導と一般研修 研修終了後は会員相互の親睦会の実施
	北関東信越 ブロック大会	8月28日～29日 第44回北関東信越ブロック大会 （新潟市：ホテル日航新潟）
	ブロック会議	11月14日 正副会長・事務局長会議－長野県担当－
職業教育事業	職業教育推進事業	7月～10月 新聞広告
	職業教育連携事業 （講師派遣事業）	随時 中学・高校から職業体験講座として講師派遣依頼があった時に向いて講習する。
広報事業	新聞広告	9月 3月 生徒募集広告（読売広告） 「群馬の私学」掲載協力（上毛新聞社）
	進学ガイド 「あなたにとって『働く』って どういうこと」の発行	未定 教師進路指導用に職業紹介と会員校情報を掲載。県内 及び県外周辺高校、中学校、県内図書館へ配布。
	ホームページ作成	7月 HPをリニューアルし、会員校情報、協会事業紹介
生涯学習事業	生涯学習促進事業	6月中旬 7月～1月 3月 地域住民が意欲をもって生活するために開催校の技術・ 技能・教育設備を提供し、独自性のある講座を開催。 出前・出張講座も参加可能 関係機関等への広報活動 開放講座・出前講座の実施（実施校） 関係機関へ事業終了報告
講習会	教育講習	7月20日 21日 11月 会員校生徒に教員としての基礎教育 〔基礎教育講習Ⅰ（公社総合ビル） 〔准教員教育講習（公社総合ビル） 規定のレポートを提出し、採点后、教員認定の基礎資 格となる終了証を発行
検定及事業	技術検定	1月19日 2月20日 服飾教員資格認定の基礎資格検定 検定試験（会場・各実施校） 技術検定合格認定 （日本ファッション教育振興協会等）
	教員資格認定	2月22日 3月1日 3月31日 基準を満たす学生・生徒を教員として認定 検定合格判定・教員資格認定判定会議 群馬県各種学校（服飾）教員資格認定 （群馬県各服飾教員資格認定委員会） 専門学校准教員（全分野対象）認定 （職業教育キャリア教育財団）
	パターンメイキング検定	6月8日 9月7日 理論・製図試験（会場・公社総合ビル） 3級実技試験（会場・前橋文化服装専門学校） 2級実技試験は東京会場にて受験
	ファッションビジネス検定	11月16日 下期検定試験（会場・公社総合ビル）
	ファッション販売能力検定	12月14日 下期検定試験（会場・公社総合ビル）
	ファッション色彩能力検定	1月25日 下期検定試験（会場・公社総合ビル）
	教員免許交付事業	専修学校教員免許交付
その他の動	表彰事業	2月 学生生徒の学業優秀者、永年勤続教職員表彰 （職業教育キャリア教育財団）

【群馬県私立中学高等学校協会】

事業名		実施年月日	会場等
総 会	群馬県私立中学高等学校協会総会・定例会	5月16日～17日	渋川市伊香保町「塚越屋七兵衛」
		3月7日	関東学園大学附属高等学校
定 例 会	7月定例会	7月11日	ラシーネ
	9月定例会	9月6日	共愛学園中学・高等学校
	11月定例会	11月8日	明和県央高等学校
	1月定例会	1月17日	桐生第一高等学校
会 議	私立高等学校生徒指導連絡会議	7月2日	群馬県公社総合ビル
	県中学校長会進路指導部との連絡協議会	6月20日	ラシーネ
研 修	教務担当者講習会	11月頃開催予定	群馬県公社総合ビル
	教科研修会（理科）	9月25日	東京農業大学第二高等学校
	関東地区私学教育研究集会校長研修会群馬大会	10月10日～11日	渋川市伊香保町「福一」
適 性 検 査	私立中学・高等学校教員適性検査	8月17日	高崎商科大学
保 護 者 会	県私立中学高等学校保護者会連合会総会	5月28日	ラシーネ
	県私学保護者会連合会理事会・学校見学会	9月26日	新島学園中学校・高等学校
	同上	2月14日	高崎健康福祉大学高崎高等学校

【群馬県私立幼稚園協会】

開催事業	実施日	会場	主催	備考
新規採用教員研修会（前期Ⅰ）	25.4.2(火)	群馬県公社総合ビル	群私幼（県補助事業）	
新規採用教員研修会（前期Ⅱ）	25.4.3(水)	群馬県総合教育センター	群馬県、県教委	公私合同
群私幼通常総会	25.5.9(木)	マーキュリーホテル	群私幼	
群馬県幼稚園教育課程研究協議会	25.5.27(月)	群馬県総合教育センター	群馬県、県教委	
群私幼PTA総会	25.5.30(木)	群馬県公社総合ビル	群私幼・PTA連合会	
新規採用教員研修会（前期Ⅲ）	25.6.4(火)	群馬県総合教育センター	群馬県、県教委	公私合同
主任研修会	25.6.12(水)	群馬県公社総合ビル	群私幼	
野外教育研修会	25.6.22(土).23(日)	国立赤城青少年交流の家	群馬県私学振興会	ニューリーダー協力（1泊2日）
新規採用教員研修会（中期Ⅰ）	25.7.22(月).23(火)	群馬県公社総合ビル	群私幼	日帰り
幼稚園バス運転手講習会	25.7.24(水)	赤城自動車教習所	群私幼	
夏季研修会（初級講座）	25.7.25(木).26(金)	伊香保天坊	群私幼	日帰り
新規採用教員研修会（中期Ⅱ）	25.7.30・31・8/1(火)～(木)	県立妙義青少年自然の家	群馬県（県委託事業）	2泊3日：公私合同
関東地区教員研修（群馬）大会	25.8.8(木).9(金)	高崎健康福祉大学他	全日私幼連関東地区会	
夏季研修大会	25.8.20(火)	高崎健康福祉大学体育館	群私幼	日帰り
第4回 幼児教育実践学会	25.8.23(金).24(土)	福岡県	全日私幼連	地区発表（群馬県）
25年度私立幼稚園教諭適性検査	25.8.24(土)	高崎商科大学	群私幼	
設置者・園長全国研修大会	25.10.21(月).22(火)	北海道：旭川市	全日私幼連	
新規採用教員研修会（後期Ⅰ）	25.10.30(水)	のびのび幼稚園	群馬県（県委託事業）	
群馬県幼稚園教育課程研究協議会	25.11.1(金)	群馬県総合教育センター	群馬県、県教委	
関東地区代表者協議会（埼玉）	25.11.7(木).8(金)	浦和ロイヤルパインズホテル	関東地区会	1泊2日：代表者のみ
設置者・園長研修会①	25.11.19(火).20(水)	伊香保福一	群私幼	1泊2日
新規採用教員研修会（後期Ⅱ）	26.1.16(木)	群馬県総合教育センター	群馬県	公私合同
群P連創立60周年記念式典及び教職員冬季研修大会	26.1.23(木)	伊勢崎市文化会館	群私幼・PTA連合会	
群私幼研究委員研修会	26.2.17(月)	群馬県公社総合ビル	群私幼	
設置者・園長研修会②・臨時総会	26.2.25(火)	群馬県公社総合ビル	群私幼	
幼保合同研修会		群馬県総合教育センター	群馬県、県教委	

※この日程は変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

※県幼児教育センター関連研修については研究部事業計画を参照。

【協力事業】

期 日	開催事業	会 場
平成25年 5月8日(水)	幼稚園等5年経験者研修①	
5月15日(水)	幼稚園長等研修①	
5月24日(金)	幼稚園等5年経験者研修②	
平成26年 6月14日(金)	幼稚園等5年経験者研修③	
7月26日(金)	幼児教育研修講座	
8月6日(火)	気になる幼児の保育研修講座	
8月19日(月)	これからの幼児教育を考える	
11月26日(火)	幼稚園等5年経験者研修④	

県人事異動

長い間ありがとうございました。

転出（新所属）

関 隆之（生活文化スポーツ部消費生活課長）
羽鳥 尚之（生活文化スポーツ部県民生活課次長）
能勢 光祐（病院局出向・小児医療センター事務局医事課長）
金子 直人（総務部広報課主幹）
関根 明子（会計局審査課主任）
飯塚 裕香（県民健康科学大学主任）

これからよろしくお願ひします。

転入（旧所属）

中村 弘子（中央児童相談所北部支所長）
湯澤 元（企画部地域政策課次長）
堀口佳奈子（教育委員会生涯学習課副主幹）
登坂 英季（企画部国際戦略課主任）
木下 聖崇（新規採用）



受賞おめでとうございます

（表彰受賞者）

瑞宝双光章

学校法人櫛淵学園 理事長 櫛淵 光彦

県総合表彰

木の実幼稚園 園長 金子 仁

全国私学振興会連合会 功労者表彰

さわらび服装専門学校 校長 築島 愛子

全国保育士養成協議会 功労者表彰

群馬県医療福祉大学・短期大学部

理事長・学長 鈴木 利定

永年勤続者顕彰

小沼 順子（明和幼稚園 教頭）

青木 茂治（東日本調理師専門学校 教員）

吉田 宏（専門学校群馬自動車大学校 教員）

小池 隆（専門学校群馬自動車大学校 教員）

お詫び

平成24年11月発行の広報誌「私学ぐんま11号・永年勤続者顕彰」に誤りがございました。

お詫びして訂正いたします。

正 福島裕子（共愛学園高等学校 教諭）

誤 福島格子（共愛学園高等学校 教諭）

表紙について

幼児期には熱中してことに取り組んでいるときこそ、様々な能力が最も伸びるといわれています。「速く明確に合理的に」が大人の世界を象徴するものであると仮定するならば、子どもたちに向けては「あわてずに、ゆっくりじっくり、何度でも」を大人たちが保障し、まさに「子ども時代を子どもとして生きている」という柔軟い理解が必要になってきそうですね。200年以前から語り繋がれる、子どもは小さな大人ではないことを、夢中になっているときの子どもの「今」から感じます。不合理のなかにこそ教育の合理性が潜んでいるようです。（柳ノ記）



編集 後記

みなさん、熱中症対策は万全ですか。例年に無く早い梅雨明けとなり、真夏の暑さがやってきました。今夏は千年に一度と云われる酷暑だそうですね。健康に留意しこの厳しい夏を元気に乗り切りましょう。

さて、「私学ぐんま」は、今後も学種を超えた会員相互のコミュニケーションの場として機能させたいと考えております。皆様からの情報やご意見を反映させながら、親しまれる会報にして行きたいと思っておりますので、ご協力の程お願い申し上げます。

（委員 鈴木良幸）

公益財団法人 群馬県私学振興会

理事長 森本純生

広報委員会

鈴木良幸・柳 晋・中村義寛・大川 義

〒371-0854

前橋市大渡町1丁目10番7号

群馬県公社総合ビル6階 私学センター内

TEL 027(255)6851（振興会）

027(280)6207（退職資金事業）

FAX 027(280)6208

URL

<http://www.shigaku-gunma.or.jp>



平成25年6月発行